

総論

満点	120点	目標得点	90点	試験時間	90分
偏差値	基幹:64 創造 - 総合機械工:64 環境資源工:63 建築:65 社会環境工:62 経営システム工:62 先進 - 物理:65 化学・生命化:65 電気・情報生命工:65 応用化:65 応用物理:65 生命医科:65				
大問数	5	小問数	53		
【解答形式】		選択式	53/53 問	記述式	0/53 問
【問題難易度】		C	2/53 問	B	10/53 問
				A	41/53 問
※問題難易度：C難問、B可否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す					

Topics

- 1：今年の問題は、大まかに言うと、読解問題と、並び替え、そして語彙を問う問題であった。読解問題は全て短めのもののみで構成されており、内容も文系の学部と比べると、抽象度は高くはない。しかし、それらの読解問題のうち、かなりの部分で、表が添付されている英文を使って計算をさせたり、単語を数字に変換をしたり、センター試験の大問Ⅵに出題されているような段落のまとまりを発見させたり、明確な解答がなく明らかに消去法でしか解けない問題も多く含まれており、受験者の論理的思考力が試されている問題が多い。
- 2：内容的には、読解問題が3題、算数や数学の文章題のような読解問題や、単語だけでなく各段落を適当な順番に並び替えさせるような問題が多く、中には、アルファベットを数字に変換させるといった問題もあり、数学的なスピードも問われている。また、出題された読解の内容は、大問Ⅰでは社会心理学、大問Ⅱの SectionAでは生物学と心理学、SectionBでは環境、大問Ⅲでは科学、大問Ⅳの SectionAでは論理学、SectionBでは経済学と多岐に渡っている。文法力に関しては唯一大問Ⅲの並び替えで問われるが Advanced 英語のテキストで十分間に合うレベルである。
- 3：形式は昨年とほとんど変化はなかった。大問Ⅰでは2つの英文を読み比べることで解答を出すといったユニークな形式の問題が今年も出されていた。

こんな力が求められる！

- 1：必要とされる能力と学力に関してだが、英語力はもちろんだが、論理的思考力がかなり求められる。しかし、日頃から数学や理科などの理系科目の学習を通して養った力を用いれば、それほど高度なものではない。また、単純に単語の意味や使い方を問う問題が多いので、出題された単語を知っているかどうかだけで差がつくことが予想される。
- 2：文法レベルと長文の読解レベルに関しては、お茶ゼミの Advanced 英語のテキストのレベルで事足りるが、単語レベルは『でか単』の PART3 を超えるものも出題されているので、この単語がよく出る、あまり出ないということを基準に暗記をするのではなく、テキストに出てきた知らない単語はすべて覚え、辞書でそれらの単語の例文を読み使い方を確認し、最後に音読をし、自分でその単語を使って英文が作れるレベルに達する必要がある。また、理系的な側面は、Advanced 英語や O S 英語のテキストだけでなく、長文マラソン(理系コース)や過去問を使って補強する必要もある。また、消去法でしか解けない問題は、文法および長文において選択肢のある問題を解く際に、日ごろから正解に以外の選択肢がなぜ正解になれないのかの理由を徹底的に探すことで、消去法の習慣を身につけておくことが一番の対策になる。

Benesse® お茶の水ゼミナール

(注)次ページからの時間配分には見直しをするための5分が差し引かれている。

大問別分析

【1】

予想配点	45/120点	時間配分の目安	30/90分
出題内容	読解問題 〔Word数〕542 words 〔『でか単』『完熟』レベル〕〔『でか単』PART2、『完熟』PART3〕 〔長文テーマ〕 集団規範と創造力		
出題形式	指示語の内容、語句の意味、内容一致など		
小問別難易度	※問題難易度：C難問、B可否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 1：B 2：A 3：B 4：A 5：A 6：A 7：A 8：A 9：A 10：A 11：A 12：A 13：A 14：A 15：A		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	テキストの読解パート、長文マラソン		

●本大問の特徴・概要

英文自体の難易度は高いが、542語と短い。しかし、問題数と問題の種類が多く、多岐に渡る能力を問われる。問題形式は、指示語の内容、語句の意味、内容一致などである。また、内容が別の英文とメインとなる英文を読み比べながら答える問題があるのが特徴的である。

●注目すべき小問

問題1は、選択肢のaとbの2つに絞られるはずだ。ここで注目すべき表現は指示語のthisの前にあるFor instanceである。この表現は同じことを抽象から具体的に言い換えるときに用いるので、For instanceの内容と同じことを選べばよいとわかる。その内容は“**But they (= social norms) also strongly influence individuals to conform to society.**”「社会的規範は、また、一個人を社会に従わせるように強く仕向けるものである」と書かれている。したがって、a「社会的規範は暗黙のルールである」では一般論にすぎず抽象度が高く、一方でbは「人々は社会的規範に従うことを強要されているように感じるものだ」となり、For instanceの前の表現の言い換えだとわかる。このように、指示語の問題を解く際には、近くにある前出の表現に着目することが必要になる。

問題3は、まず、**think out of the box**「自己の職務範囲を超えて全体的に能率改善を考える」という意味のあまり有名ではない熟語を知っているだろうか。しかし、これを知らなくても直訳で十分理解できるはずだ。直訳は「創造力は箱の外で考えることの結果であるという程度まで、普通、集団は創造的な一個人を評価はしないが、代わりに、(創造的な)彼らを見捨てたり、彼らを完全に自分たちがいる集団から排除さえする」となる。ここまでの話から、**box**が「集団」、**outside**は「(その集団から)逸脱し」という例えだと推測することは難しくはない。この表現をもっと簡単に言ってしまうと「出る杭は打たれる」ということである。したがって、選択肢のdが言い換えであることが見抜けるだろう。この問題を解く上で大切なことは、熟語の意味にこだわるのではなく、強引にでも直訳をし、そして正解を導く粘り強さが必要である。直訳の仕方を学ぶには完熟を是非参考にとよい。

問題4だが、ここの文意を考えると正解はdの**talent**「才能のある人々」とわかるはずだが、この名詞が集合名詞であることに気がつくであろうか。おそらく、単数形に見えるこの単語を真っ先に正解から消してしまう受験生も少なくないはずである。この問題自体が文法にこだわる受験生に間違えさせることを目的にしている。決して合否が絡む問題ではないが、文法にこだわりすぎるのではなく、その場その場に応じて単語を使い分ける能力が求められていることに注意。

【Ⅱ】

予想配点	20/120 点	時間配分の目安	20/90 分
出題内容	長文を利用した空所補充問題 [Word 数] 471 words [『でか単』『完熟』レベル] [『でか単』『完熟』ともに PART2 [長文テーマ] ストレスの減らし方		
出題形式	空所補充		
小問別難易度	※問題難易度：C 難問、B 合否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す 1 : A 2 : A 3 : B 4 : A 5 : B 6 : A 7 : A 8 : A		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	テキストの読解パート、長文マラソン		

●本大問の特徴・概要

問題形式は6問(A～F)すべてが空所補充になっている。英文自体の難易度はかなり易しい。問題も適切な接続詞や副詞を空所に入れる基本的なものが多い。文章と並び換え問題と、段落の並び換え問題に関しては、いわゆる“つなぎ語”に着目することで解ける形式になっている。しかし、この大問には珍しいタイプの問題がある。6つある空所のうちいくつかを見てみよう。これらの空所は本文中に2か所ずつある。したがって、どちらの空所にも適するものを選ばなくてはならないという点で珍しいタイプの問題である。

●注目すべき小問

問題3を見てみよう。“(C) you accomplish the things on your list, cross them off.”という文と“(C) the gentle current carries you along, you look up at the white clouds crossing the sky.”の空所Cに共通する語を選ぶのだが、最初の文だけでは、「～するとき」という意味のAsとWhenのどちらでも正解になってしまう。しかし、後の文を見てみよう。「緩やかな流れがあなたを運んでくれる(C)、あなたは白い雲が空を流れているのを目にする」。carries you along という「変化・移動」を表す動詞と相性が良いのはAs(～ながら)である。

問題6も見てみよう。“To reduce stress(F) further, do mental exercises every day.”という文“With your eyes(F) closed, visualize a beautiful tropical beach.”の空所Fに共通する語を選ぶのだが、最初の文だけでは、a～dのすべての選択肢がfurtherという比較級を強調する語として入ってしまう。しかし、後の文を見ると、明らかにbのyetは肯定文では使わず、dのevenは「目を閉じさせた状態で」となり、意味的に不自然だとわかる。さらに、cのmuchでは「かなり目を閉じて」も不自然なので、「依然として目を閉じたままで」という意味を出すstillが正解となる。このようにきめ細かく文章を読むことで初めて正解に辿りつける仕組みになっている。

また、文中で、最近ではすっかり日本語になっているadrenalin「アドレナリン」という単語も使われているが、その際、この物質がどのようなものかを調べておこう。

【Ⅲ】

予想配点	15/120 点	時間配分の目安	10/90 分
出題内容	並び替え問題 『でか単』『完熟』レベル] 『でか単』『完熟』ともに PART2		
出題形式	並び換え		
小問別難易度	※問題難易度：C難問、B可否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 1 : A 2 : A 3 : A 4 : A 5 : A		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	Advanced 英語の Master Training (前期のテキスト)		

●本大問の特徴・概要

大問Ⅲは5問すべてが並び換え問題だが、文章中の一部の文章を並び替える形式になっている。文法的な難易度は高くはない。基本的な語彙力と単熟語の使い方を知って入れれば全問正解の受験生は多いと思われる。並び替えの際に文脈を利用できるので、問題の難易度は標準以下になると予想され、ここで落としているようでは合格は厳しいと考えた方がよい。

●注目すべき小問

注目すべき小問は問題5である。as～as...を単純に「…と同じくらい～」という意味のみで覚えている受験生には対応しきれないだろう。as～as...を見たときに、最初の as は副詞で「同じくらい～」、後の as は接続詞で「…のように」という2つの as が一緒に使われていると文法的に考えることができれば、as～as...の後の as がない形にも対応できるだろう。

その他の小問に関しても少し触れておこう。

問題1では be willing to V～「喜んでV～する」という基礎熟語を用いている。

問題2では等位接続詞の and を用いて過去分詞の taught と found をつないでいる。

問題3では第4文型の deny 「01 に 02 を与えない」を受動態で用いている。

最後に、問題4では起源を表す out of～「～から」を用いており、すべて基本的な知識と単熟語の使い方のみで解ける問題となっている。

この単元に関しては、Advanced 英語の前期のテキストの Master Training を使い、並び替え問題の基礎を固め、後期では赤本などで並び替えの実戦形式の問題を数多く解くことが効果的である。また、『でか単』や『完熟』を暗記する際にも必ず例文を音読し、意味だけでなく、単熟語の使い方を徹底的にマスターすることが必要である。

【IV】

予想配点	20/120 点	時間配分の目安	15/90 分
出題内容	読解問題 [Word 数] SectionA : 94 words SectionB : 381 words [『でか単』『完熟』レベル] 『でか単』『完熟』ともに PART3 [長文テーマ] SectionA : 論理学 SectionB : 経済学		
出題形式	Section A : 語(句)の意味、内容一致 SectionB : 情報処理、数値計算		
小問別難易度	※問題難易度 : C 難問、B 合否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す 1 : A 2 : A 3 : C 4 : C 5 : B 6 : A 7 : A 8 : A 9 : A 10 : A		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	長文マラソン(理系コース)		

●本大問の特徴・概要

SectionAに関しては、論理的なクイズになっている。一部には単語の意味を問う単純な問題もあるが、この単元は解く側の人間の感覚や考え方によって解答が分かれてしまう可能性が高い悪問が多く含まれていた。SectionBに関しては、5問中4問は適切な数値を入れる問題であり、1問だけ適切な語(句)を入れる形式になっている。読解は高くないが、英文と表を使って与えられた情報を処理する必要がある。

●注目すべき小問

[Section Aのみ]

問題3は悪問である。設問は“What is the best example of an (3)argument with missing claim?”「反対意見も出るであろう主張を無視して推し進められている議論の最もいい例はどれか」という問題だ。選択肢のaとdのどちらかが解答になることまではわかるが、ここからの絞り方が難しい。選択肢のaは“Violent crime is increasing. Therefore, we should vigorously enforce the death penalty.”「暴力的な犯罪が増加している。したがって、精力的に死刑を施行すべきだ」とあるが、死刑を施行すれば暴力的な犯罪は減少するのであるか? かなり根拠のない論である。次に、選択肢のdは“The older you get, the more difficult it is for you to learn new foreign languages.”「年をとればとるほど、新しい外国語の習得が難しくなる」とあり、年をとると記憶力や新しいものへの順応性が低下し、新しい外国語の習得が難しくなると考える人にとっては正しい論のように思われる。しかし、年をとることで、いろいろな経験を積み、新しい外国語を習得しやすくなる場合もあるだろう。例えば、英語をマスターし、その後、文法的にでも、単語的にでも、発音的にでも構わないが、英語と似た言語を学習する人がいれば、その人は明らかに年をとってからのほうが習得しやすくなっていると推測することはなんの不思議でもない。このように、解く側の人間によって意見が分かれてしまうこと自体が悪問と呼ばれる所以である。

それでは、どのようにしてこの問題を解くべきであろうか? それは、選択肢のa、b、cの3つと選択肢のdの違いを探してみると明らかになる。a、b、cにはすべて **Therefore** を挟んで **claim** と **argument** が記載されている。しかし、dは結論しか書かれていないので、論理的に破綻している。したがって、内容ではなく、論の述べ方が不適切ということで正解はdとなる。解く側の考え次第で解答が分かれてしまうだけでなく、解法の論点をずらしてこの問題の深みにハマることなく次の問題に行く方が賢明である。

問題4も捨ててよいだろう。早稲田の受験生とは言っても、sequitur「推論、結論」という単語を知っている受験生はかなり少ないと予想され、かつ、文脈を使ってもこの単語の意味を推測することは不可能に等しいからである。sequiturの意味を推測しようとすること自体が無駄である。したがって、この問題に時間を割くよりも確実に得点できる問題に時間を割くべきである。

【V】

予想配点	25/120 点	時間配分の目安	10/90 分
出題内容	文法・語彙問題 『でか単』『完熟』レベル] 『でか単』『完熟』ともに PART3		
出題形式	共通語の選択、語の意味、英単語を数値変換		
小問別難易度	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 1 : A 2 : A 3 : A 4 : A 5 : A 6 : A 7 : B 8 : A 9 : B 10 : A 11 : A 12 : B 13 : A 14 : B 15 : B		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	『でか単』と『完熟』をマスター		

●本大問の特徴・概要

SectionAは3つの文の空欄に共通に入る単語を、文脈と与えられた頭文字1字から推測し、最終的には、その英単語を数字に変換する問題が5問ある。単語レベルは基本的なものであり、また、文脈からかなり推測でき、全問正解が必要条件となる。他の大学にはない早稲田の理工学部特有の問題であり、極めて珍しい問題である。

SectionBは3つの言い回しの空欄に共通に入る単語を選択肢から選ぶ形式が5問ある。中学生レベルの単語ばかりなので一見すると簡単に思われるが、ほとんどすべてが多義語になっており、実際には難しい問題も含まれている。

SectionCは空所に適切な単語を選択肢から選ぶものであり、選択肢の単語のレベルが高いものもある。しかし、逆に単語を知ってさえいれば確実に得点できるものばかりである。

●注目すべき小問

SectionAに関しては、基本的な単語力を問う問題である。ただし、英単語を数字に変換することが特徴的だが、決して難しくはない。注目すべき問題は特にないが参考までに1問見てみよう。(i)からおそらく **shoulder** だと予測できる。(i)では「肩」という意味の名詞、(ii)「～を引き受ける」という意味の動詞、(iii)「～をかつぐ」という動詞で用いており、この単元の問題はこのレベルのものばかりである。

SectionBに関しては、問題7の(ii) **island chain**「列島」、問題8の(ii) **nuclear plant**「原子力発電所」、そして、問題9の(ii) **combination safe**「番号[文字]の組み合わせをする金庫」といったあたりだろう。**chain, plant, safe** といった単語は中学生も知っている単語であり、日本語にもなっている。しかし、上記のような意味になじみのない受験生は対応できない問題である。日頃から、ただ単に単語帳を暗記するだけでなく、いろいろな種類の長文に接し、多くの単語を吸収することでしか対応できない類の問題である。先ほども述べたが、単熟語を覚える際には、『でか単』や『完熟』に限らず、辞書においても例文まで調べ音読することが必要である。

SectionCに関しては、純粋に単語力を問う問題。注目すべき問題は特にないが、選択肢に難しい単語も含まれているので参考までに『でか単』と比べながら見ていこう。例えば、**manipulation**「操作、不正工作」は『でか単』のPART2、**mediocre**「並みの、二流の」、**implement**「～を実行する」、**facilitate**「～を容易にする」、**allocate**「～を割り振る」といった単語はPART3、**subsidy**「補助金」や**convene**「～と招集する」といった単語は『でか単』には掲載されていない。このような現状からわかるように、この単元を攻略するためには、『でか単』のPART3が必須になってくる。早稲田の受験者であれば、かなりの割合で知っていなければならないレベルの単語ではあるが、仮に知らない単語に遭遇したとしても、消去法で攻めることも視野に入れておこう。